
電通総研、効果的なデータ・AI 活用を実現する
デンドロビウム
データレイクハウスネイティブ CDP 構築支援サービス「DendroBium」の提供を開始
- 企業のデータ活用課題を解決し、AI 時代のマーケティング基盤を構築 -

テクノロジーで企業と社会の進化を実現する株式会社電通総研(本社:東京都港区、代表取締役社長:岩本 浩久、以下「電通総研」)は、2025 年 11 月 27 日(木)より、企業の効果的なデータ・AI 活用を実現するデータレイクハウスネイティブ CDP(Customer Data Platform)構築支援サービス「DendroBium(デンドロビウム)」の提供を開始します。



DendroBium

「DendroBium」は、電通総研が長年培ってきたマーケティング基盤構築の知見と、最新の Web アプリ・マイクロサービス技術を融合した次世代型 CDP 構築サービスです。基盤にはレイクハウスアーキテクチャを採用し、データレイクの柔軟性・スケーラビリティと、データウェアハウスの信頼性を両立。構造化・非構造化を問わず、あらゆるデータを統合管理し、多様な分析ワークロードを単一プラットフォームで実現します。

■ 背景

近年、企業のデータ活用は高度化し、マーケティング・営業・カスタマーサポートなどの部門で膨大な顧客データが収集されています。しかし、従来の CDP は、特定のストレージや決まったデータ構造を使うことが前提となっており、既存のデータ基盤との統合が難しく、データのサイロ化やガバナンスの課題が顕在化していました。さらに、AI 活用やパーソナライゼーションの需要が急速に高まる中、リアルタイム分析と柔軟なデータ統合を実現する次世代基盤の必要性が増えています。

こうした背景から、データレイクハウスの柔軟性と信頼性を生かし、既存のデータ資産を最大限に活用できる「レイクハウスネイティブ CDP」が注目されています。電通総研は、このような企業ニーズに応えるべく、企業の DX 推進と効果的なデータ・AI 活用を支援するサービス「DendroBium」を提供します。

■ サービスの主な特長



1. コンポーザブル CDP

企業独自のニーズに合わせて最適な機能を柔軟に組み合わせ、業務適合性を最大化

2. AI/BI 統合ダッシュボード

現状把握から要因分析、次のアクションまでをシームレスに支援

3. 多視点 AI エージェント

マーケティング戦略、データサイエンス、顧客資産分析など、複数の人格を持つ AI が高度な示唆を提供

4. オープンなアーキテクチャ

ベンダーロックインを回避し、将来にわたるデータ資産の活用を保証

■ ユースケース

・ 高精度ターゲティングによる広告効果最大化

ダッシュボードにより現状を的確に把握し、顧客生涯価値 (CLV) の高い優良顧客層を抽出します。次に、「DendroBium」の AI アシスタント「顧客資産アナリスト」が、顧客層の優良性を規定する共通要因を精緻に分析し、その結果に基づき、高確度の「類似オーディエンス」候補を選定します。

・ 解約兆候検出による顧客維持と CLV 向上

ダッシュボードにより、解約率や顧客生涯価値 (CLV) といった主要指標を継続的にモニタリングし、現状を精緻に把握します。加えて、AI アシスタント「顧客資産アナリスト」が、Web アクセスログやサポート履歴等の多様なデータを統合的に解析し、解約兆候の背景要因に関する深いインサイトを提示するとともに、顧客ごとの「解約予測スコア」を算出します。

・ AI ペルソナ分析による施策立案の高度化

ダッシュボードにより、「特定製品が想定外の顧客層に浸透している」という事象を検知します。その後、AI アシスタント「マーケティング戦略提唱者」が、顧客群のデータを精緻に解析し、発生要因を特定。加えて、マーケティング担当者が容易に理解・活用できる高度な「AI ペルソナ」を生成します。

■ ユースケース検証のためのパイロット企業募集

実証実験を通じたユースケースのさらなる拡充のため、パイロット企業を募集します。

募集期間：2026年1月30日(金)まで

応募方法：g-mit_solution_sales@group.dentsusoken.com に、下記①～④を記載の上、メールにて応募ください。

①企業名 ②担当者の部署・氏名 ③電話番号 ④メールアドレス

電通総研は、今後「DendroBium」のサービス拡充と業界別の導入テンプレートやユースケースの検証・整備を進め、より高度化する企業のデータ活用を支援してまいります。

<ご参考資料>

[・「DendroBium」について](#)

■ 電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という3つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

* 電通国際情報サービス(ISID)は、電通総研へ社名を変更しました。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研

営業統括本部 営業第二本部 エンタープライズ営業第2ユニット 和田、坂本、渡邊

E-Mail: g-mit_solution_sales@group.dentsusoken.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 野瀬

TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com